

ICAプレジデント、日本の銅産業界要人と懇親

日本銅センターは、ICA (International Copper Association) と共同して銅需要拡大に向け、さまざまなプロジェクト活動を行っている。2008年の主なプロジェクトにはCopper in Home (住宅で活用される銅製品の需要拡大)、Copper in Health・Biological Application (銅の抗菌性を活用して病院や老人ホームなどの建物内装・設備に、また蚊の抑制などへの銅製品の活用)、CMR・Copper Transformer・Cable Sizing・Geosolar (銅の高導電性・高伝熱性を電機製品やシステムに活用して高性能・省エネ化を図る)、さらにJapan OEM (Original Equipment Manufacture) と称して成長分野における銅需要の拡大を図っていくテーマなどがある。

このような状況下の2007年12月10日には、ICAプレジデントFrank Kane氏が来日、レセプションや関連各社・団体への訪問を通してわが国の銅産業界の要人と親交を深めた。なお日本銅センターでは、銅の特性を活かし、需要拡大に結びつく2009年のICA共同プロジェクトの提案を受け付けている。詳しくは日本銅センター (TEL 03-3836-8821) までお問合せを—



要人との懇親パーティー

TOPICS

トピックス

TOPICS

技能オリンピック開催 2部門で銅が活躍!

2007年11月15日～18日の4日間、静岡県沼津市で「第39回技能五輪国際大会」が開催され、世界各国から4,000人にのぼる選手、関係者が集い技を競い合った。この大会は、世界各国・地域から選ばれた22歳以下の技術者が一堂に会し、技能を競うもので2年に1回開催されている。38の正式種目があり、そのうち金属屋根葺き部門 (9か国参加) では銅屋根の施工、配管部門 (23か国参加) では銅管を含む配管技能を競った。競技の結果、配管部門で日本の遠間潔寿選手が銅メダルを獲得。大会には20万人近くの参観者が訪れ、盛況のうちに終了した。



配管部門の競技



オリンピック・メインゲート



金属屋根葺き部門の競技